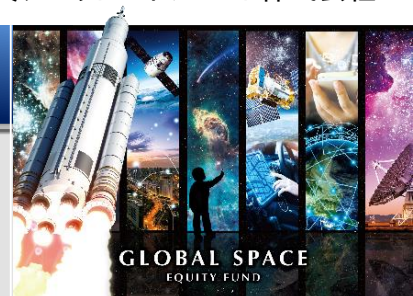


2019年12月6日
日興アセットマネジメント株式会社

グローバル・スペース株式ファンド(1年決算型)

加速する宇宙関連ビジネス ～月面着陸から50年、注目分野と陰の立役者～



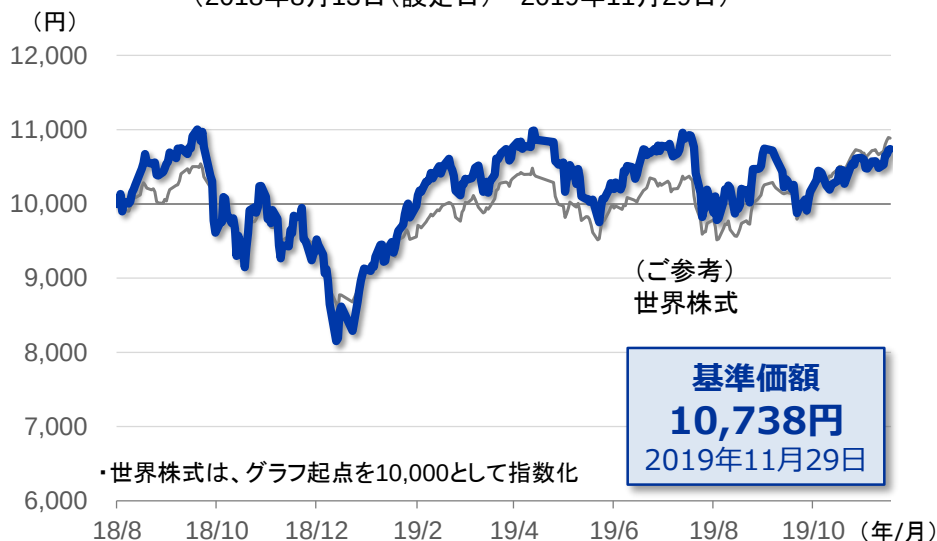
人類が初めて月面着陸を果たしてから50年を迎えた2019年、再び宇宙産業への注目が集まっています。従来は政府主導だった宇宙産業が、足元では民間企業が主体となって取り組みを加速させている点が大きな特徴となっており、また、さまざまな業種の企業が宇宙ビジネスの商業化を支えています。

そこで本資料では、宇宙産業の中でも商業化の取り組みが進む人工衛星ビジネスと、基幹技術についてご紹介いたします。

宇宙ビジネス関連銘柄で構成された当ファンドのパフォーマンス

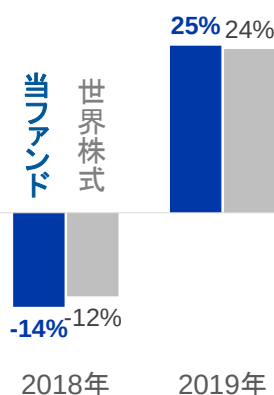
基準価額の推移

(2018年8月13日(設定日)～2019年11月29日)



年次騰落率

2018年は設定日から、
2019年は11月29日時点



※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

- ・世界株式: MSCI ACワールド指数(配当込)を日興アセットマネジメントが円換算。
なお、円換算の指数値は、当ファンドの基準価額の算出方法に準じ、前営業日の株価に当該営業日の為替レートを乗じています。
- ・上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

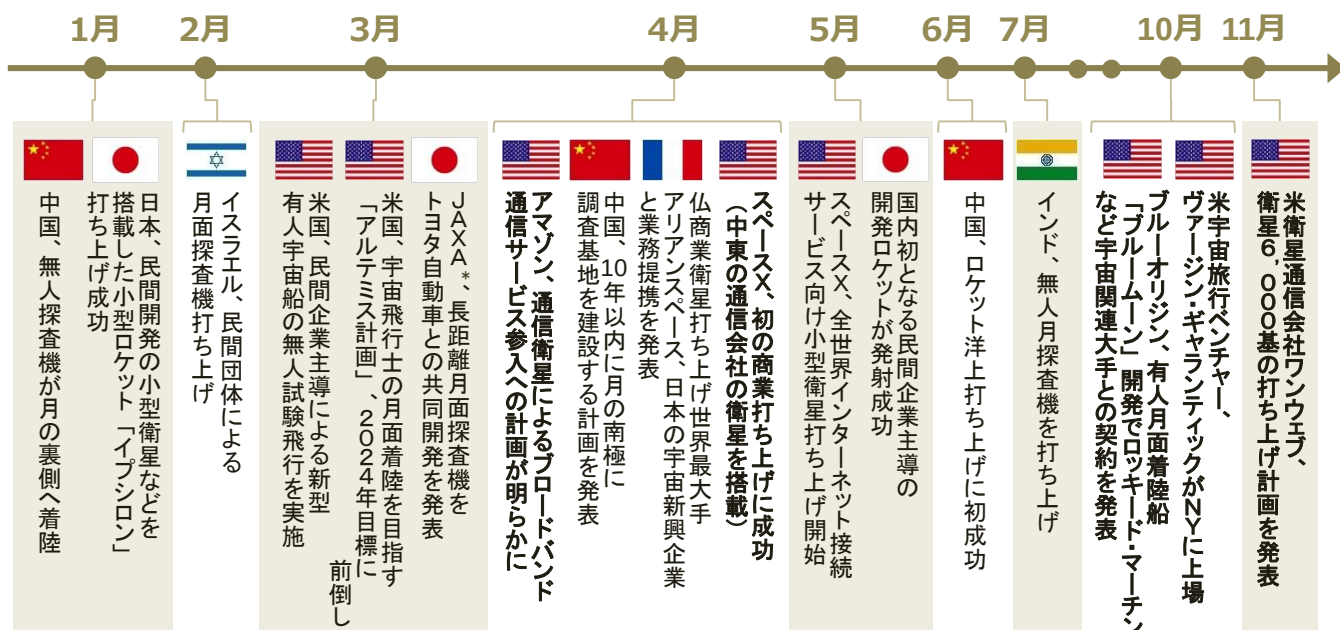
当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・スペース株式ファンド(1年決算型)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

1 足元で、宇宙への取り組みが加速

2019年は、宇宙関連ビジネスに関するニュースが多く見受けられました。なかでも、人工衛星ビジネスを企業が加速させる動きがみられたことに加え、宇宙産業先進国と言われる米国をはじめ、さまざまな国が、再び月をめざして取り組みを加速させる動きが顕著となりました。

新たなビジネス分野として、注目が高まる宇宙

<2019年に発表された主な宇宙関連ニュース>



* JAXA: 宇宙航空研究開発機構

注目トピック①

各国が競って再び月へ

1969年7月、人類史上初となる米アポロ11号の月面着陸から50年を迎えた今年、各国が再び月をめざす計画の発表が相次ぎました。

注目トピック②

加速する衛星打ち上げ

宇宙ビジネスの中でも最も商用化が進んでいるとみられる人工衛星ビジネスでは、米国を中心に、打ち上げペースが加速しています。

次ページで詳しく >>>

各種報道などをもとに、日興アセットマネジメントが作成

※ 上記は過去のものおよび予定であり、将来を約束するものではありません。

※ 上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・スペース株式ファンド(1年決算型)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

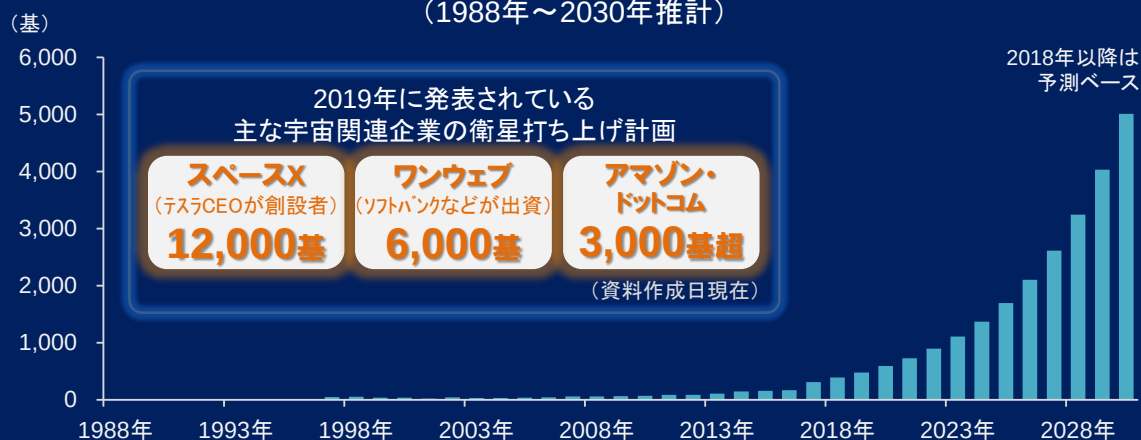
2 IoT*化の加速とともに、拍車がかかる衛星打ち上げ

* IoT (Internet of Things) : モノのインターネット化

現在、宇宙産業の中でも商業化が進んでいるのが、人工衛星ビジネスです。従来の大型衛星による通信ではなく、より低コスト・短期間での開発が可能な小型衛星を数多く打ち上げることで、地球包囲型のブロードバンド通信網が構築できることから、新たなビジネス領域として期待されています。

最も身近であり、成長加速が見込まれる人工衛星ビジネス

＜人工衛星打ち上げ数の推移＞
(1988年～2030年推計)



Union of Concerned Scientistsやアーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシーのデータをもとに日興アセットマネジメントが作成
* 2017年時点での人工衛星打ち上げ計画をもとにアーク社が推計

急増理由①

「いつでも・どこでもつながる」をめざして

IoTの普及により通信環境の強化が求められる中、人工衛星への通信ニーズは重要性を増しています



40%

**世界人口の約4割は
インターネット未接続**

未接続地域は、
インターネットビジネスの
ブルーオーシャン（未開拓市場）



災害時などにおいては、
場所を選ばず通信可能な
衛星電話などが活用されます。

急増理由②

広がるデータビジネスの可能性

人工衛星から取得できる「地球データ」を
利活用したビジネスが注目されています。

例えば

世界的な取り組み「SDGs**（持続可能な開発目標）」でも、以下のような分野で、宇宙・空間情報の活用が期待されます。



** 2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」における2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されます。

※ 上記は過去のものおよび予定であり、将来を約束するものではありません。

写真、イラストはすべてイメージです

※ 上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・スペース株式ファンド(1年決算型)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

③ 宇宙ビジネス発展の裏には、「基幹技術」の存在

- 宇宙ビジネスの発展を支えてきたのが、「基幹技術」の存在です。基幹技術とは、宇宙ビジネスにおける部品の提供や製造を担うテクノロジーです。様々な分野におけるイノベーションが、宇宙ビジネスの発展に大きく貢献しており、ロケットや人工衛星の「小型化・低コスト化・短納期化」につながっています。
- 当ファンドでは、この「基幹技術」が重要な位置づけを占めるとともに、飛躍的な成長が見込まれる分野として、注目しています。

基幹技術の進歩が、 ロケットや人工衛星の「小型化・低コスト化・短納期化」を実現

＜宇宙関連ビジネスで活用される「基幹技術」例＞



例① 様々な利点から急成長が見込まれる 3Dプリンタ

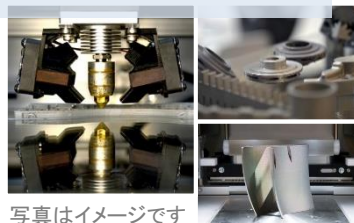
3Dプリンタは、大きな塊を削ったり、鋳型を使って部品を製造するのではなく、一層一層、積層して造形する製造方法です。

従来の製造方法と比べて、**大幅なコスト低減**が可能となるほか、設計～製造の**期間の大幅短縮**、**設計者の役割拡大**、**斬新な構造と製造に伴う廃棄物削減**など、さまざまな利点があります。

3Dプリンタ市場は、2017年から2023年で約10倍に拡大する*との見通しもあります。

【関連銘柄例】

- ✓ ストラタシス (イスラエル)
- ✓ プロトラブズ (米国)



写真はイメージです

例② テクノロジーを裏で支える重要な存在 ディープラーニング (深層学習)

ディープラーニングとは、AIの発展を支える技術の1つです。**プログラマーから指示を受けるのではなく、データを用いて自ら学習し、能力を向上させます。**

人工衛星やロケットの設計にこの技術と3Dプリンタを用いることで、部品の強度の向上や軽量・小型化が可能となるほか、搭載機器に活用されるなど、幅広く活用されています。

ディープラーニングが生み出す価値は、インターネットの3倍になる*ともいわれています。

【関連銘柄例】

- ✓ エヌビディア (米国)



* ARK Investment Management LLC調べ

※ 上記関連銘柄例は、当ファンドのマザーファンドの2019年10月末時点のポートフォリオのうち、組入上位の中からご紹介しています。

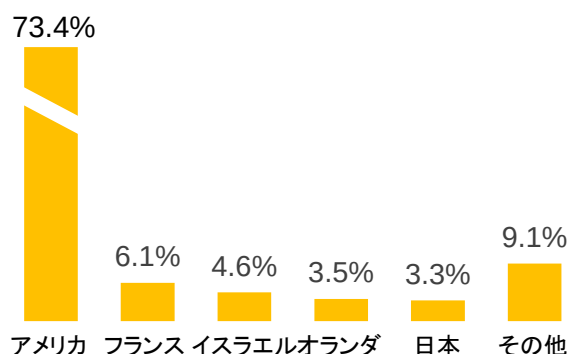
※ 上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・スペース株式ファンド(1年決算型)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ポートフォリオ概要(2019年10月末現在)

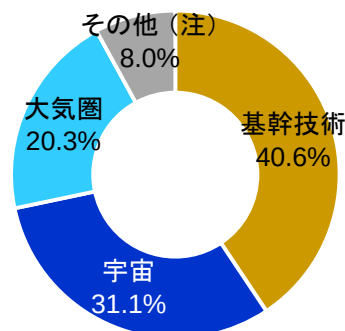
宇宙ビジネス先進国 アメリカ中心のポートフォリオ

国別比率



宇宙ビジネスを支える 「基幹技術」が全体の約4割

宇宙関連分野別比率



(注)「その他」には、宇宙関連ビジネスの恩恵を受ける企業などを含みます。
※「宇宙関連分野」はアーク社が考える分類です。

銘柄概要と組入比率(組入上位10銘柄)

【銘柄数:39銘柄】

1	イリジウム・コミュニケーションズ(電気通信サービス/米国)	宇宙	6.5%
低軌道周回衛星の一群からなるイリジウム通信網を有する衛星通信会社。			
2	エアロバイロメント(資本財/米国)	大気圏	5.2%
小型無人航空機の大手。米国初の商業用ドローンの運営許可を取得。			
3	ストラタシス(テクノロジー・ハードウェア/イスラエル)	基幹技術	4.6%
イスラエルの3Dプリンタ製造会社。			
4	エヌビディア(半導体・半導体製造装置/米国)	基幹技術	4.3%
宇宙関連活動からの莫大な量のデータ解析に必要なAI(人工知能)や深層学習の重要な基幹部品を作成。			
5	ロッキード・マーチン(資本財/米国)	宇宙	4.1%
航空宇宙業界で世界最大手の一角。ボーイングとの合併会社で、米政府へ打ち上げサービスを提供。			
6	プロトラブズ(資本財/米国)	基幹技術	4.0%
3Dプリンタなどによるラピッドプロトタイピング(高速試作)の大手。			
7	スプラック(ソフトウェア・サービス/米国)	基幹技術	4.0%
衛星やその他宇宙関連企業が創出する莫大なデータの収集・分析ソフトウェアの作成・促進を行なう。			
8	L3ハリス・テクノロジーズ(資本財/米国)	宇宙	3.9%
通信、地理空間システム、航空管制システム、宇宙の分野における大手。			
9	オートデスク(ソフトウェア・サービス/米国)	基幹技術	3.8%
CAD(計算機援用設計)や3Dプリンタ向けソフトウェアを作成。			
10	タレス(資本財/フランス)	宇宙	3.6%
衛星群ではイリジウム、Ob3など向けに製造するなど豊富な経験を持つ仏衛星製造会社大手。			

※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。また、上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

※上記データはマザーファンドの状況です。比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・スペース株式ファンド(1年決算型)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

1

主に、世界の株式の中から、宇宙関連ビジネスを行なう企業およびその恩恵を受ける企業の株式*に投資を行ないます。

* 預託証券を含みます。

2

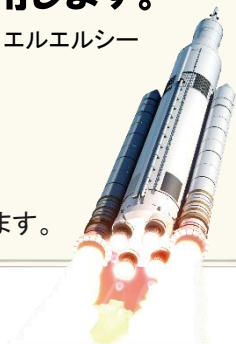
個別銘柄の選定において、アーク社**の調査力を活用します。

** アーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー

3

年1回、決算を行ないます。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。



お申込みに際しての留意事項

リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。

なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「グローバル・スペース株式ファンド(1年決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	2028年6月7日まで(2018年8月13日設定)
決算日	毎年6月7日(休業日の場合は翌営業日)
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜申込時、換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料	購入時の基準価額に対し3.3%(税抜3%)以内 ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

運用管理費用(信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対し年率1.925%(税抜1.75%)
その他の費用・手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有望証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。 また、有望証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アメリカズ・インク
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社愛知銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第12号	○			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡地証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第5号	○	○		
株式会社きらぼし銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第53号	○		○	
七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第37号	○			
株式会社名古屋銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第19号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第20号	○			
株式会社三重銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第11号	○			
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	
株式会社宮崎銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第5号	○			
めぶき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1771号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(資料作成日現在、50音順)